

【取組内容②】録音・録画の機能を活用した協働的な学習

実際の参観と録画や動画配信を活用した学校行事の体感と理解

小中一貫教育校である本校は、中1ギャップを解消し、小学校から中学校への接続をスムーズに行うために、様々な交流を行っている。交流は対面交流も行うが、場面によっては録画を視聴したり、オンラインで交流したり、コンテンツを共有したりしている。いくつかの学校行事において、今年度は小学校5年生は録画したものを一人一台端末で視聴し、内容を理解するようにした。一方、小学校6年生は実際に見学し、その場の雰囲気を感じることによって、来年は自分たちがこの場で行事を行うという心の準備が行えるようにした。



【成果】川戸小学校6年生は、中学校の生徒総会（左写真）、体育祭（右写真）を見学した。生徒総会の厳粛な雰囲気の中、中学生が運営する会を体感し、体育祭では全校生徒で行う「川中ソーラン」を間近で見学し、その迫力を体感した。見学した児童の感想から、「来年は自分たちも中学生として参加する（参加したい）」という気持ちになったという感想が多く、事前の心の準備が行えたことが伺えた。

小・中学校の接続を考えたとき、小学校5、6年生が場面や発達段階に応じて交流の方法を選択し、中学校の行事を視聴・見学できることは、中1ギャップの解消にとっても効果的である。